

宮水コミスク通信

令和4年度
第1号
令和4年6月30日(木)
日之影町立宮水小学校

昨年度、町内一斉にコミュニティ・スクールの取組がスタートしました。コミュニティ・スクールとは、学校・保護者・地域の代表者が一堂に会し、学校の運営について話し合う学校運営協議会を設置している学校のことです。昨年度は、初めての試みということで、試行錯誤しながらの取組でした。今年度は、昨年度の反省を生かして、さらに充実した学校運営協議会にしていきたいと思います。今年度も、学校運営協議会の内容を地域の皆様方にもお知らせするために、この「宮水コミスク通信」を発行することといたしました。今後も、「宮水っ子」の健やかな成長のために、家庭・地域・学校が一体となって力を合わせていければと思っております。どうぞ、今年度もよろしくお願ひいたします。



【今年度の委員の紹介】

- | | |
|-----------------------|--------------------------------|
| ○工藤建樹 様（長谷川公民館館長）継続 | ○小川鉄平 様（地域学校協働活動推進員）継続 |
| ○佐藤 貴 様（大菅公民館館長）継続 | ○津隈一弘 様（PTA会長）継続 ※今年度学校運営協議会会長 |
| ○丹部俊夫 様（大人公民館館長）新規 | ○菊池健太 様（PTA副会長）新規 |
| ○鳥飼喜彦 様（八戸本通り公民館館長）継続 | ○中山弘美 様（PTA副会長）新規 |

第1回学校運営協議会終る

【日程】令和4年6月28日(火) 13:30~15:30

- 1 開会行事（委嘱状交付等）
- 2 町教育委員会説明（教育施策と主な事業）
- 3 学校による説明（経営方針及び予算等）
※説明後、学校経営方針等、委員の皆様方より承認をいただきました。
- 4 授業参観
主に、子どもたちの学習態度やICTを活用した授業の様子について熱心に参観していただきました。



【委嘱状交付】



【たんぽぽ学級】



【5年生教室】



【6年生教室】

- 5 グループ協議

知育部・德育部・体育部の3つのグループに分かれて、それぞれ今年度の経営方針と関連のあるテーマを決めて協議を行いました。今年度より、教職員の参加を増やしてみました。短い時間でしたが、様々な御意見をいただきました。今後の学校経営に生かしていくたいと思います。ありがとうございました。

なお、グループ協議の主な内容は裏面に印刷してあります。

- 6 全体会（各グループの報告）
- 7 閉会行事

○アンケート記入



【グループ協議の様子】

【知育部】

- 放課後子ども教室で宿題を終わらせるため、家で学習をするという習慣化ができない児童が多いという本校の実態がある。家庭学習見守り週間のような取組を行うことで家庭学習習慣化の効果も見られるが、今後さらに効果を上げていくためには、ICTの活用も考えられないか。例えば、学校で作った図工作品を写真に撮り家の人に見せることを宿題にする、家庭で行ったお手伝いを写真に撮り学校で報告することを宿題にするなど、タブレットPCを活用した宿題の一工夫はもっと考えられないか。
- 保護者も毎日仕事をしながら、絶えず新しい情報を手に入れ学ばなくてはならない状況がある。大人になっても絶えず学びが継続するという状況を、キャリア教育の視点から児童に話をすることも大切ではないか。また、タブレットPCの活用として調べ学習の課題をもっと宿題として出し、生涯学び続けるために、自分から進んで何でも調べる力を育てていく必要があるのではないか。
- タブレットPCの活用については、あまり制限を設けないことも大切ではないか。子どもたちは、自由なプログラミングを通してゲームを作ったりする状況があるが、ゲームがいけないということではなくて、これからはそれらの技能を生かして自分で学びの世界を構築していく、そういう力が求められているのではないか。先生や大人から与えられた指示待ちの力ではなく、自分で学びの世界を構築・拡大していく力が求められる。そして、すでに児童はその世界に進みだしているのではないか。

【德育部】

- 主体的・積極的で、地震をもって堂々とふるまえる児童の育成のためには、経験を積み重ねさせることが大切ではないか。経験することで、自信が生まれる。また、コミュニケーション能力も重要である。
- 学校側が児童に求めていることは、児童にとってはハードルが高く、すぐに身に付くようなものではない。すぐに結果を求めず、もっと長い目で見てはどうか。
- 児童が積極的に発言させるためには、教師が聞き上手になることが大切。また、発言しやすいような学級の雰囲気づくりも重要である。
- あいさつは、まず大人が範を示すべき。家庭で親がしっかりと子どもにあいさつしているのだろうか。
- 教師を含めた大人の言い方が、命令口調になりがちではないか。「～しなさい」ではなく、「～しようか」など言い方ひとつで子どもの受け取り方が変わり、意欲につながる。
- 地域の行事に参加することによって、そこで、あいさつ・返事・コミュニケーション能力も培われると思うが、近年、人口減少、高齢化によって、地域住民に余裕がなくなってきた感じがする。そのため、地域の行事がやや衰退してきているのではないか。
- 電子黒板が太陽の光が反射して、見にくい児童もいるのではないか。また、教室によって室温の差を感じた。タブレットを使っている学級、人数の多い学級は比較的暑く感じた。

【体育部】

- 姿勢が体の成長にどのような影響を与えるのか、なぜよい姿勢をすることが大切なのかなど、理由をしっかりと教えていくことで、子どもたちも意識をもって気を付けていくのではないだろうか。
- 授業においては子どもに自信をもたせるような指導をしていただきたい。自信をもって学習に取り組むことが、話を聞いたり発表をしたりする際の姿勢にも表れてくると思う。
- 姿勢と内面（心）の部分はつながりがあると考える。学習に向かう気持ちや集中して取り組む気持ち（心）の部分をしっかりと教育していくことで、姿勢にも表れてくるのではないかだろうか。
- 机上にあるタブレット、教科書、ノートなどの学習用具をしっかりと整理して学習に取り組むことも大切である。落ち着いて学習のできる環境を整えていくとよい。
- 体力については、基礎をつくる小学生から高校生までの時期にしっかりと運動に取り組んでおくことで、大人になってからも強い体を維持することができるを考える。
- 家庭との連携や協力で成果につながることも多いので、情報を共有しながら指導を進めていけるとよい。